


| | | | |
|------------|--|--------------------|---|
| ふりがな 氏名 | まつおか さき 松岡 沙生 | 都道府県 東京都 |  |
| 所属/肩書 | <ul style="list-style-type: none"> ・オルタナ S 早稲田大学高野ゼミ支局メンバー ・早稲田大学法学部 | | |
| 私のESD活動 | <p>世界各地の暮らしから“Sustainability”の鍵を学び、ワクワクする形で私たちの暮らしを見つめ直す機会を提供している</p> | | |

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

私は、ひとと自然の関係について学び考えている。大学一年生時、特定非営利法人 ECOPLUS 代表且つ早稲田大学の高野孝子教授のもとで“Sustainability “について授業で学び、ヤップ島プログラム 2014に参加した。2年生の時から日本での野外環境教育のプログラムにもスタッフとして携わってきた。今年 2 月にはマオリ族の出身で、少数民族の健康問題への取り組みの必要性を訴え、その地域の、環境に根差した知恵や伝統的な人々の役割に配慮した学びの必要性について考えている方からそのコアにある精神を学びに、実際にニュージーランドでフィールドワークをしてきた。現在は、高野教授の授業を通して特に環境教育についてアカデミックに且つ新潟県榑窪集落へのフィールドワークをして考えを深めつつ、この夏には、授業の一貫としてインド北東部のナガランド州へいき、少数民族アオ族で「Sustainable Development for Nagaland (ナガランドの持続可能な開発)の代表で、環境に関する弁護士資格を持ち、山岳地での農業、資源管理、人材開発など少数民族がクラス地域社会を中心に幅広い教育活動をしている方が活動している場所へ訪れ、日本と似た予定だ。そして、新潟県榑窪集落のお米でおにぎりをつくり大学近くで売り、それを買った人たち 75 人と田んぼオーナーになり、その人達と田植えや草取りに行き、「おにぎりを買う」というワンアクションから全く興味を持っていなかった人たちに伝わるような企画や、オルタナ S というメディアでの取材や執筆を通してライフスタイルについて自分自身も考えながら発信している。

○「オルタナ S」(おにぎり企画) <http://alternas.jp/joy/date/63662>

○NPO 法人 ECOPLUS <http://www.ecoplus.jp>

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体(地域や日本国内、国際)の発展にどのように貢献したいと思いますか？

大学でPBEについて学び考えを深めているが、地域とグローバルのつながりをどのようにしていくべきかについても今後私は考えていきたいと思っている。また、さらにそれをどのように政策レベルに引き上げていくことができるのかについて考えていきたい。そして、2017 年にはローリー・インターナショナルなどに応募して、自分の成長とともに国際的にも議論しあえる仲間たちを作っていきたいと思っている。

大学卒業後、いずれは大学院へ進学して環境と開発、そして 1 つのアプローチとしての野外教育について体験し学んだことをよち多くの人に伝えられるように学びを深め、ESD がより目標に近づけるようにもちろん日本を含め国際的に携わりたいと思っている。そして、ゆくゆくは地球規模の視点を持ちつつ、世界に発信しながら地元広島でも何かしら ESD に関する事業もしくは活動に携わりたいと思っている。また、学んできたことに相反しないようなサステイナブルなライフスタイルを私自身からつくっていきたく思っている。